

2014年度 工学部物質生命化学科教育課程表 (2006年度から2011年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

		1年次						2年次						3年次						4年次						卒業要件 単位数
		1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5セメスター			6セメスター			7セメスター			8セメスター			
		授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	
専攻科目	必修科目	無機化学Ⅰ	○2	{ 引地 丹羽 井川 池原 松本 横澤 佐藤(憲) 井川	無機化学Ⅱ	○2	{ 引地 丹羽 池原 松本 横澤 佐藤(憲) *1 *2	化学情報処理	○2	{ 原園 *3 *4 櫻井 上田 *5 小出 小林	化学情報処理	○2	{ 原園 金 赤井 *4 *5 有働	物質生命化学専修実験	○2	{ *6 三谷 江口 *7	輪講Ⅰ	○2	{ 専任者全員 三谷 小林 *8	卒業研究(通年)	○8	専任者全員	52			
		分析化学Ⅰ	○2		物質生命化学演習Ⅱ☆	○1		物質生命化学演習Ⅰ☆	○1		技術者倫理	○2		技術者倫理	○2											
		基礎物理化学	○2		物質生命化学実験Ⅰ	○2		物質生命化学実験Ⅱ	○2		△情報処理演習Ⅰ	○1		△情報処理演習Ⅰ	○1											
		有機化学Ⅰ	○2		反応速度論	○2		科学技術英語Ⅱ	○2		△科学技術英語Ⅰ	○2		△科学技術英語Ⅱ	○2											
		分析化学Ⅱ☆	○2		科学技術英語Ⅰ	○2		情報処理演習Ⅰ	○1																	
	選択必修科目							現代工業化学	×2	鴨志田				エネルギー化学	×2	{ 引地 松本 浅野	環境化学	×2	{ 井川 松山					6 以上		
												信頼性工学	×2													
	基礎科目	科学基礎群	幾何学Ⅰ	4	(休講)	物理学A	2	{ 松田 (休講) 小林 立山 何森 (休講) 山崎(教)	物理学B	2	{ 田村 朝倉 相澤 白崎 坂口 清水 相澤 永野 高橋 鈴木(敏) 鈴木(友)	生物学概論Ⅱ	2	{ 朝倉 相澤 有働 小谷 永野 鈴木(友) 永野 鈴木(友)	地学Ⅰ	2	{ 藤岡 (休講) 越野	地学Ⅱ	2	{ 藤岡 朝倉 中川					14 以上	
			物理学概説	4	松田	△幾何学Ⅰ	4		物理学実験Ⅰ	1		△物理学実験Ⅰ	1		生物学実験	1										
			微分積分学Ⅰ	4	(休講)	△物理学概説	4		△物理学A	2		△幾何学Ⅰ	4		△微分積分学Ⅲ	4										
			微分積分学入門	4	{ 矢島 何森	△微分積分学Ⅰ	4		△幾何学Ⅱ	4		微分積分学Ⅲ	4		△微分積分学Ⅲ	4										
						△微分積分学入門	4		微分積分学Ⅲ	4		微分積分学Ⅲ	4		△微分積分学Ⅲ	4										
		工学基礎群				微分積分学Ⅱ	4	(休講)	△微分積分学Ⅱ	4	{ 山崎(教) 鈴木(友) 山崎(教) 鈴木(友) 林 五明	△微分積分学Ⅱ	4	永野									2 以上			
									微分積分学Ⅱ	4					コンピュータⅠ	2	森住									
									基礎電気工学	2																
									確率・統計Ⅰ	2																
	専門選択科目	A群						有機反応論	2	{ 横澤 亀山 小野・朝倉 金	量子化学	2	{ 内藤 小野 松本 小出 佐藤(憲)	基礎分子光化学	2	{ 櫻井 *9	分子分光	2	{ 關 引地					14 以上		
		B群						生物化学工学☆	2		基礎生化学	2		基礎電気化学	2		物質生命機能デザイン	2		配位化学	2					4 以上
		C群						基礎高分子科学☆	2		基礎電気化学	2		固体化学	2		機器分析☆	2		触媒化学	2	基礎高分子物性☆	2	池原		
	関連科目														電子材料化学	2	{ 内藤 佐藤(祐) 丹羽	高分子合成化学☆	2	{ 池原 金					4 以上	
														無機材料工学☆	2											
														生物資源化学	2	{ 大窪 岡本		微生物工学	2		{ 布施 岡本 小野					4 以上
													有機医薬工業☆	2	立体有機化学☆			2								
														分子生命科学☆	2											

*1:井川, 小出, 引地, 中澤, 南齋

*2:引地, 池原, 岡本, 佐藤(憲), 金, 松本, 太田, 齋藤, 南齋, 吉田

*3:池原, 櫻井, 上田, 片岡, 吉田, 田邊

*4:櫻井, 井川, 上田, 小野, 小出, 横澤, 赤井, 片岡, 田邊, 中澤

*5:青木, 大窪, 久保木, 中村

*6:引地, 池原, 岡本, 佐藤(憲), 金, 松本, 太田, 齋藤, 南齋, 吉田

*7:池原, 小野, 引地

*8:小出, 佐藤(憲), 松本

*9:横澤, 井川, 上田, 赤井, 太田, 齋藤, 片岡, 田邊, 中澤, 南齋, 吉田

〔備考〕

- 印は必修科目，×印は選択必修科目，△印は再履修授業科目を示す。
- ☆印は2013年度以降にセメスターを変更した科目を示す。ただし4年次での「物質生命化学演習Ⅰ」の再履修は前期に行えるが，単位を修得出来なかった場合に後期の「物質生命化学演習Ⅰ（再履修）」を履修することはできない。

〔履修要件〕

- 上位年次の授業科目を履修することはできない。ただし，基礎科目，関連科目においては，2年次からこの制限を設けない。
- 工学部他学科開講の授業科目を履修する場合は，受講者数に制限があるので，担任者の許可が必要である。
- 1年間に履修登録できる単位数は，54単位を上限とし，かつ各セメスターに履修できる上限は30単位とする。（通年科目については，その科目の単位数を二分割し，各セメスターの単位数として換算する）。ただし，第二外国語，選択英語，卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については，この制限を適用しない。
- 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学Ⅰ」及び「微分積分学Ⅱ」の未修得者に限る。

〔進級要件〕

教育課程表に記載されていない各種課程に関連する科目の単位は，進級要件の総単位数に含めない。

（1年次から2年次）

- 1年次終了までに「FYS」2単位を修得しなければならない。

（2年次から3年次）

- 2年次終了までに次の単位を含めて総単位数で63単位以上を修得しなければならない。
 - 「物質生命化学基礎実験」，「物質生命化学実験Ⅰ・Ⅱ」6単位及び「科学技術英語Ⅰ・Ⅱ」のうち2単位以上を含め専攻科目の必修科目20単位以上。
 - 第一外国語2単位以上。

（3年次から4年次）

- 3年次終了までに次の単位を含めて総単位数で106単位以上を修得しなければならない。
 - 「物質生命化学基礎実験」，「物質生命化学実験Ⅰ・Ⅱ」及び「物質生命化学専修実験」8単位。
 - 第一外国語4単位及び「科学技術英語Ⅰ」と「科学技術英語Ⅱ」4単位。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は，本学における授業科目の履修とみなし，卒業要件単位に算入することができる。またこれらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。

- 本学が主催または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で，本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で，本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年以上在学し，学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 <

- 第一外国語としては英語を推奨する。
- 教養系科目から22単位以上修得するものとする。そのうち自然の分野を除きキャリア形成1単位，人文の分野4単位，社会の分野4単位を含めて18単位以上修得するものとする。なお，自然の分野では4単位を修得し，それを超えて履修しても卒業要件単位に算入しない。
- 選択必修科目で「卒業要件単位」を超える単位は，専門選択科目A群の単位に換算できる。
- 同一言語同一名称の科目をⅠ・Ⅱのペアで修得した（必修以外）外国語科目は関連科目に換算できる。
- 教育課程表に記載されていない資格教育課程に関連する科目及び教職課程の「教職に関する科目」の単位は，卒業要件の総単位数に含めない。

教育課程における標準年次の区切線について

- ① 標準年次が実線（——）で区切られている場合，上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線（……）で区切られている場合，上位年次の授業科目は履修できますが，「履修要件」等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。